

南部町立小学校適正規模等検討委員会 視察研修 議事録

- ◇ 日 時 平成26年10月30日(木) 午後 9時00分開会
午後12時00分開会
- ◇ 場 所 南部町立万沢小学校、 南部町立睦合小学校
- ◇ 出席者 尾山幹雄委員 四條勉委員 深澤謙治委員 遠藤友佳子委員 森田和人委員
遠藤優一委員 萩原敬委員 木内利明委員 国友昭伸委員 望月幸司委員
山本純司委員
若林正昭教育長 青木司学校教育課長 若林将基主査
- ◇ 欠席者 若林一明委員 佐野よし子委員 旗持文彦委員 佐野元気委員

[研修会場：万沢小学校] 午前9時～午前10時20分

- ◇ 委員長あいさつ 委員長
- ◇ 校長から資料が配布され、学校の概況について説明があった。その後、1年生～6年生の授業を参観した。再度ひいらぎホールに戻り、校長から配布資料に基づき説明がなされる。また、本年度の運動会の動画を見る。
- ◇ 質 疑
 - 委員長) 3年生は男子のみの学年であるが、偏りについてどう考えるか。
 - 校 長) 心配はしていたが、言い争いの時には止めに入るなどしてバランスは取れていると思う。また、女性教員が介入して指導している。集会を企画するなどいろいろな考え方があることを学び補っている。
 - 委 員) 睦合から万沢に来た教員がよく面倒を見てくれている。子供を増やす努力を学校でもしてほしい。地域で学校を盛り上げているほしい。
 - 校 長) 早川北小(全校17名)とも情報交換をしている。
 - 委 員) 適正規模にルールはないということにハッとした。子供のためだけでなく地域のための学校でもある。いい研修であった。
 - 委 員) 小小連携に関して、20年程前に修学旅行を万沢と富河が一緒にしていたが、事前準備、事前交流に時間を要するという理由でやめてしまった。小小連携に取り組むには、よく準備をしたほうがよい。
 - 委 員) 校舎が立派である。小規模のメリットもよくわかった。認め合い、助け合い、自我の形成がうまく行っているのか。
 - 教 頭) 同学年は少ないが、異学年との付き合いは充実している。
 - 副委員長) 先生方の意見も聞いてみたい。

[研修会場：睦合小学校] 午前10時～午後12時

- ◇ 委員長あいさつ 委員長
- ◇ 会議室において校長から資料が配布され、学校の概況について説明があった。その後、1年生～6年生の授業を参観した。再度会議室に戻り、校長から配布資料に基づき説明がなされる。
- ◇ 質 疑
 - 委 員) 支援員の勤務形態はどうなっているか。
 - 校 長) 2人の支援員が月曜から金曜の午前中勤務している。

委員) 学習面において 20 人以上の児童の個々の格差を解消する方法は。
校長) 個々に応じた指導をしている。担任が主になり指導員もサポートしている。家庭学習の手引きにより家庭と連携し取り組んでいる。毎週金曜日パワーアップの時間、水曜木曜は読書の時間を設けている。また、がんばりタイムを放課後に実施している。

委員長) 印象的には、1～3 年生は万沢小、4～6 年生は睦合小の態勢が良いと思った。

委員) 職員研修はどのようにしているか。

校長) 校内研修を行う。また、県指導主事の指導を仰いでいる。授業研修をどの教員も 1 年に 1 回は行っている。

委員) 他校との連携はあるのか。

委員) 小学校単位の連携はない。支会や峡南地区においては教育研究会がある。

委員長) 統合が行われない場合は小学校間の連携が必要になることも考えられるが、小学校同士の連携は可能か。

校長) H27 からスキー教室を、H28 から修学旅行は町内 4 校が合同で行う予定である。社会科、生活科においても合同実施は可能である。算数などは調整が必要である。

閉会あいさつ)

副委員長

以上で視察研修を終了します。

以上